

Life&Health

芦屋健康福祉事務所

所 芦屋健康福祉事務所
【H I V・梅毒・肝炎検査(要予約)】
日 10日・24日(水) 午後 1 時30分～2 時(匿名検査) **場** 地域保健課
☎ 26-8152※オンライン予約可
【①こころのケア相談・アルコール問題相談②専門栄養相談(要予約)】
日 ①16日(火) 午後 1 時～2 時②23日(火) 午前10時～正午 **場** 地域保健課 **☎** 26-8152
【各種衛生検査(要予約)】
日 (月・火※12月22日・23日・29日・30日除く) 午前 9 時～11時30分 **場** ①検便(赤痢菌等) ②水質検査(一般11項目) ③水質検査(特殊項目) **費** ① 1 検体480円 ② 1 検体11,600円 **場** 企画課 **☎** 26-8159

芦屋病院公開講座

日&内 令和8年1月10日(土) 膀胱の病気について/2月14日(土)「がん」ってどんな病気ーがんの基礎知識ー/3月14日(土) 変形性膝関節症の治療・午後2時～3時30分 **所** 市民センター401室 **人** 先着各90人 **場** 公民館 **☎** 35-0700

生活習慣病予防のためのヘルシークッキング



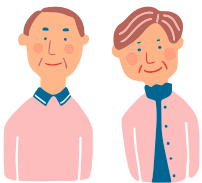
日 令和8年1月23日(金) 午前10時15分～午後1時 **所** 保健福祉センター3階調理実習室 **内** 血圧・血糖値・コレステロールが気になる人の食事(調理実習) **人** 先着 20人 **師** 管理栄養士(芦屋在宅栄養士会) **費** 600円 **持** エプロン・三角巾・マスク・筆記用具 **申** 12月1日(月)～電話かホームページから申込フォームで **場** こども家庭・保健センター **☎** 31-1666



ホームページ

带状疱疹予防接種(定期接種)

内 接種対象者へ5月に接種券はがきをお送りしています。有効性と接種による副作用(副反応)が起こるリスクを十分に理解した上で受けてください。組換えワクチンを接種予定の方は2カ月の間隔をあけて2回接種が必要です。令和7年度対象者は、令和8年1月末までに1回目のワクチンを接種してください。**人** 年度内に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳を迎える方、100歳以上の方、60～64歳でヒト免疫不全ウイルスにより日常生活がほとんど不可能な免疫の機能の障がい(身体障害者手帳1級相当)のある人。※100歳以上の方は令和7年度のみ対象/過去に接種済みの方は原則定期接種の対象外。**費** 4,000円(生ワクチン) 11,000円/回×2(組換えワクチン) **持** はがき・本人確認書類 **所** & **申** 市内実施医療機関(要予約) **場** こども家庭・保健センター **☎** 31-0655



子宮頸がん予防(HPV)ワクチンキャッチアップ接種

内 キャッチアップ接種対象者が無料で接種できる期間は、令和8年3月31日までです。計3回の接種を完了するためには、12月末までに2回目のワクチンを接種する必要があります。お早めの接種をご検討ください。**人** 平成9年4月2日～平成21年4月1日生まれ的女性※令和4年4月1日～令和7年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種し、完了していない人 **申** 実施医療機関※有効性と接種による副作用(副反応)が起こるリスクを十分に理解した上で受けるようにしてください。**場** こども家庭・保健センター **☎** 31-0655



ホームページ



救急医療

院内では必ず不織布マスクの着用をお願いします。

救急・休日の診療(12月29日～1月3日も受診できます)

■救急指定病院

芦屋病院(外・内) **☎** 31-2156
南芦屋浜病院(外・内) **☎** 22-4040
芦屋セントマリア病院(整外・外・内) **☎** 23-1771

■神戸こども初期急病センター(小)

☎ 078-891-3999(H A T 神戸内)
(月～金) 午後7時30分～翌朝6時30分
(土) 午後2時30分～翌朝6時30分
(日・祝) 午前8時30分～翌朝6時30分

■休日応急診療所(内・小)

☎ 21-2782(公光町5-13)
(日・祝) 午前9時～午後5時

■休日夜間急病診療所(耳・眼)

☎ 06-6480-9500(尼崎市西難波町6-1-9)
(日・祝) 午前9時～午後4時
(土) 午後6時～8時30分(耳鼻咽喉科のみ)

■歯科センター(歯) **☎** 31-0658(呉川町14-9)

(日・祝) 午前9時～11時30分

12月夜間当番医(必ず事前にご連絡ください。)

【(金) 午後8時～11時以外】南芦屋浜病院 **☎** 22-4040【(金) 午後8時～11時】5日 大谷整形外科・眼科(整外) **☎** 34-7077/12日 さわだクリニック(内) **☎** 23-7117/19日 藤崎整形外科(整外) **☎** 38-0107/26日 永松クリニック(外) **☎** 32-3399

電話相談

【救急や病院に迷ったとき】救急安心センターひょうご **☎** #7119(年中無休)/**☎** 078-331-7119
【こどもの病気・けがの相談】兵庫県子ども医療電話相談 **☎** #8000/**☎** 078-304-8899
(月～土 午後6時～翌朝8時/日・祝日 午前8時～翌朝8時)



検診・相談

WEB予約はこちら→
検診受診日の2週間前までの予約となります



がん検診		
肺がん検診 (65歳以上は結核検診含む)	17日午後1時	40歳以上/年1回胸部直接撮影【要予約・WEB予約可】 必要な人はかく痰検査(900円)
胃がん検診 (胃部X線撮影)	12月以降の予約受付中	35歳以上(血縁者に胃がんの人がいれば30歳以上)年1回(2,500円)胃部X線直接撮影【要予約・WEB予約可】
胃がん検診(内視鏡検査)	市内実施医療機関診療時間内	50歳以上/2年に1回(4,300円)【要予約】
大腸がん検診	随時受付(火)の午前中または郵送にて提出)	40歳以上/年1回(800円)便潜血反応検査(2日法)
前立腺がん検診	5日・1月9日 午前10時30分	50歳以上男性/年1回 P S A検査(1,000円)【要予約・WEB予約可】
個別 乳がん検診 (マンモグラフィー)	[芦屋病院] ☎ 31-2156 (月～金) 午前中 [あいかプレストクリニック] ☎ 38-7171(診療時間内) [芦屋セントマリアクリニック] ☎ 61-7211(診療時間内) [まさい乳腺クリニック] ☎ 22-2800(診療時間内)	40歳以上女性/2年に1回(2,000円) ※豊胸術・ペースメーカー装着・妊娠中・授乳中の人は不可【要予約】
集団 乳がん検診 (マンモグラフィー)	8日・12日 午前/検診車【こども家庭・保健センター】1月17日【潮芦屋交流センター】	40歳以上女性/2年に1回(2,000円) ※豊胸術・ペースメーカー装着・妊娠中・授乳中の人は不可【要予約・WEB予約可】
子宮頸がん検診	随時(医療機関で診療時間の午前中)	20歳以上女性/2年に1回(1,000円)頸部細胞診【要予約】
検(健)診		
アスベスト検診	3日・1月7日 午後1時	アスベストによる健康不安のある人/年1回/問診・胸部レントゲン【要予約・WEB予約可】
肝炎ウイルス検診	5日・1月9日 午前10時30分	過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない40歳以上【要予約・WEB予約可】
骨粗しょう症検診	12月11日 午前9時30分	20歳以上・超音波法(1,000円)【要予約・WEB予約可】
健康チェック (3時間人間ドック)	1月以降の予約受付中	市内在住・在勤30歳以上(9,000円) 希望者:ピロリ菌検査(別途600円) 前立腺がん検診(別途1,000円) 【受診日の1週間前までに要予約・WEB予約可】
歯の無料相談と健診	17日・1月21日 午後1時～2時45分 【歯科センター】	市内在住・在勤者(20歳以上には歯周病検診あり)症状がなく、かかりつけ歯科医院がない人【こども家庭・保健センターまで要予約】
特定健康診査(個別)	市内実施医療機関 診療時間内 12月13日まで	40歳以上の国民健康保険加入者(受診券のある人)【要予約】
後期高齢者 医療健康診査		後期高齢者医療制度加入者【要予約】
事業所健診	随時(事業所単位で申し込み)	市内在勤者【要予約】
相 談		
健康相談	11日午後・16日午後 19日午前	健・検診結果に関する医師による成人の相談【要予約】
栄養相談	2日・16日・1月6日 午前9時30分～11時	管理栄養士による生活習慣病・フレイル予防の食事相談等【要予約】
保健相談	23日午前9時20分～11時20分	保健師による生活習慣病の予防等【要予約】

◆会場の明記のないものはこども家庭・保健センター ◆料金記載の無いものは無料 ◆対象は芦屋市民◆こども家庭・保健センターでの検(健)診はWEB予約可 ◆各がん検診は、70歳以上または後期高齢者医療制度に加入している人(要マイナ保険証(健康保険証の利用登録がされたマイナンバーカード)/前立腺がん・胃がん<内視鏡検査>検診を除く)、市民税非課税世帯に属する人(事前に申し出が必要/要本人確認書類/前立腺がん検診を除く)は料金免除

申し込み・問い合わせ こども家庭・保健センター健康増進係 **☎** 31-1666/FAX31-1018

凡例…**日** 日時 **所** 会場・場所 **内** 内容 **人** 対象・定員 **師** 講師 **持** 持ち物
費 費用(記載のない催しは無料) **申** 申し込み **場** 問い合わせ

芦屋病院 ミニコラム

FUS、非肥満2型糖尿病、5型糖尿病

糖尿病・内分泌内科
紺屋浩之医師

2025年4月日本肥満学会は、18歳から閉経前の女性における低体重や低栄養の状態に対する新たな疾患概念として、「女性の低体重/低栄養症候群(Female Underweight/Undernutrition Syndrome : FUS)」を提唱しました。成人女性が低体重・低栄養の状態に陥ると、脂質異常症・骨密度低下・耐糖能異常・月経周期異常など、様々な健康リスクや症状を生じることが明らかに

なっており、FUSから非肥満2型糖尿病への進展や5型糖尿病(長期的な栄養不足によって臓臓の発達妨げられ、インスリンの分泌能力が著しく低下し、アジアやアフリカなどの低・中所得国を中心に、全世界で推定2,000万～2,500万人が罹患)との関連も注目されています。過度な食事制限は健康障害となる可能性がありますのでご注意ください。

コラムの詳しい内容はホームページへ▶

問い合わせ 芦屋病院 **☎** 31-2156

